

高次脳機能障害者の社会参加のきっかけと 学業や就労を継続するための地域支援とは？

高次脳機能障害のある方の社会参加を促進するために、
ピアソーターとして活動し、就労している当事者の経験から学び、
必要となる地域資源、フォーマル・インフォーマルな支援について、
みなさんで考えます。

※ 参加費用は無料ですが、さいたま市内在住・在勤のほか、市内で学ぶ方が対象です。

講師

會田 玉美 氏

目白大学大学院リハビリテーション学研究科長 教授

日時

令和7年11月30日（日）
13時～15時30分（受付 12時30分～）

会場

浦和コミュニティセンター 10F 第13集会室
会場定員：50名（申し込み優先の当日先着順※1）

- ・体調がすぐれない方の参加はご遠慮ください。
- ・当日の検温、消毒、マスク着用の感染症対策は個人でご判断ください。
- ・新型コロナウイルスの影響等により、中止や内容の変更をする場合があります。
- ・当日受付時に氏名、電話番号を記載して頂きます。

※1 申込み者数が定員50名に満たなかった場合は、当日先着順で受け付けます。

申込み

✉seminar.shakaisanka@gmail.comからのお申込み※2になります。

- ①お名前、②あなたのメールアドレス※3
- ③あなたのお立場（当事者、当事者の家族、支援者、専門職、学生、その他など）
- ④参加希望会場：会場開催、Zoomオンライン開催（定員30名）
- ⑤その他運営に伝えたいことがあればご記入ください。

※2 申込み期間は、令和7年10月6日（月）から11月10日（月）までとしますが、定員に達した時点で参加申込みの受け付けは終了とさせていただきます。

※3 オンライン開催にご参加希望の方は、後日Zoom URLをメールでお送りします。

會田 玉美 氏

目白大学 保健医療学部、目白大学大学院リハビリテーション学研究科 教授
博士（保健科学）、作業療法士、産業カウンセラー

都立病院23年勤務の後現職

研究分野：高次脳機能障がい者の医療福祉連携、作業療法部門のマネジメント

板橋区地域自立支援協議会 高次脳機能障がい部会長

社会福祉法人東京援護協会 評議員

豊島区高次脳機能障害専門相談員

主 催：さいたま市

さいたま市障害者協議会

高次脳機能障害さいたま これからの道

協 力：目白大学

問合せ先：さいたま市障害者協議会

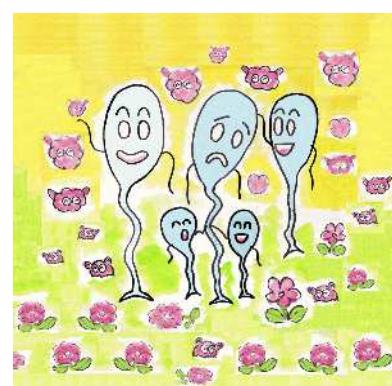
TEL 048-653-7271 FAX 048-653-7341

高次脳機能障害さいたま これからの道

e-mail : koujinousaitama@icloud.com



申込み用QRコードです



手話通訳・
要約筆記が
つきます

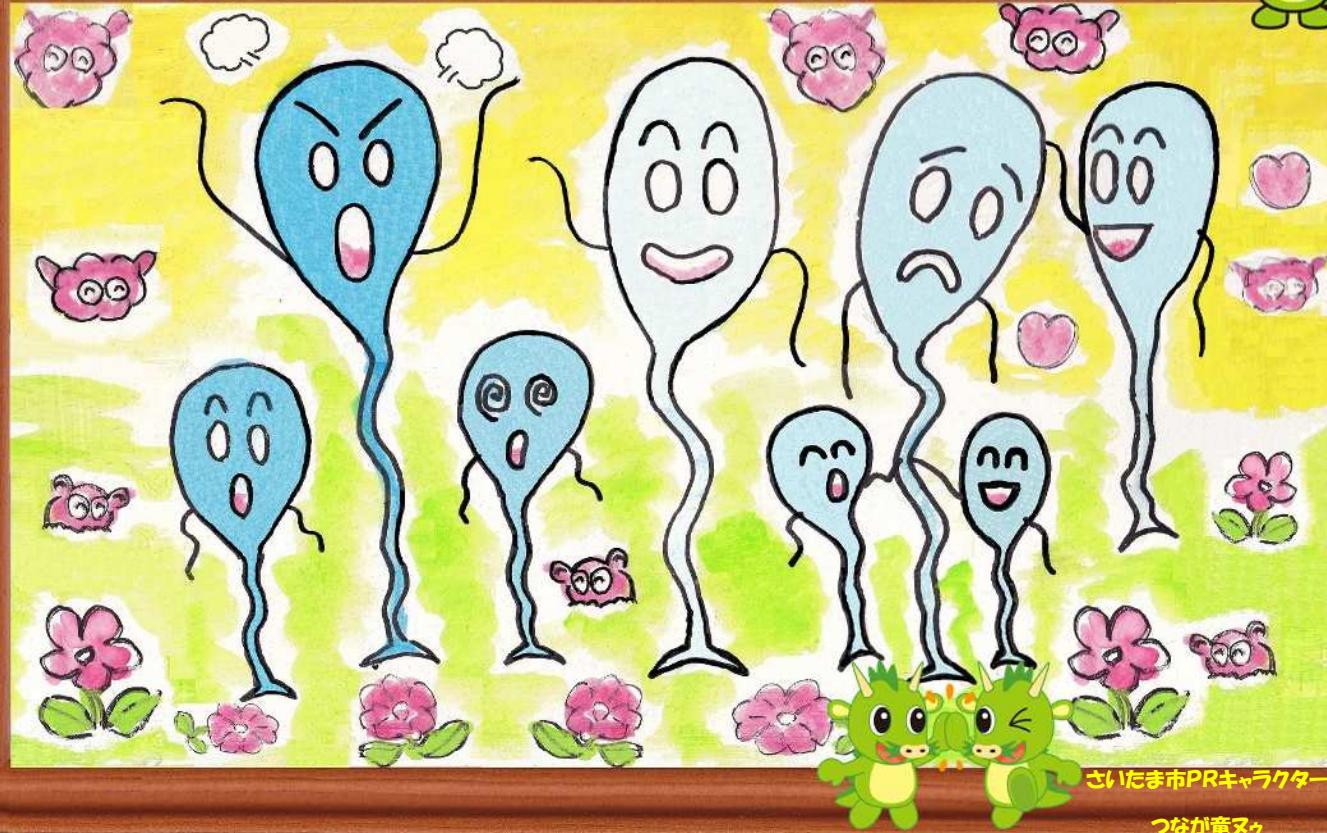
ご興味の
ある方なら
どなたでも！

高次脳機能障害さいたま これからの道

略称:高次脳さいたまこれから

さいたま市PRキャラクター
つなが竜スケ

病気やけがで脳が傷ついたあと、困っていませんか？



さいたま市PRキャラクター

つなが竜スケ

高次脳機能障害にはこんな症状があります

- ①易疲労性 ②脱抑制 ③意欲・発動力の低下 ④注意力・集中力の低下 ⑤失語症
- ⑥記憶障害 ⑦遂行（実行）機能障害 ⑧半側空間無視 ⑨病識の欠如 ⑩失見当識

当事者や家族の思い、情報を共有し合いませんか？

高次脳機能障害当事者
Sariちゃんの易疲労性



さいたま市
PRキャラクター
つなが竜スケ



ノーマライゼーション条例
PRキャラクター
ノマくん

